



令和 7年1月10日

保護者の皆様へ

大阪市立大隅西小学校  
校長 原 雅 史

## 2・5年生 交流授業（＝みんぐる）のお知らせ

新春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

近年、スマホやテレビゲームに代表される遊びの変化や核家族化などの影響もあり、異年齢の子どもの交流する機会が減り、その中で得られる貴重な学びも失われています。そのため、学校の特別活動等において、各活動、学校行事の特質や内容に応じて、上学年の児童が主体的に下学年の児童をリードする活動ができるような内容や時間確保の工夫が必要と、文科省や国立教育研究所も教示しています。

異年齢の児童が共に活動することで「上級生へのあこがれ」「下級生への思いやり」「規範意識」などの効果が期待でき、普段の教科の学習ではなかなか育むことが難しい「社会性」をも伸ばすことができると考えられています。

また、全国で不登校の子どもが35万人を超えるなど、現行の学校教育制度に限界がきているのではと各所でささやかれ始めました。そこで、海外でも成果がでている「異学年交流授業」を取り入れていくことで、「子どもがさせられている学習」から「子どもが主体的に取り組んで学習」する学びの場に学校が変わり、「学校が大好き」「学ぶことが大好き」という子どもの数を一人でも増やすことを祈念しています。

そこで本校では、今年度は5・2年生で、異学年交流授業を次の要領で行ってまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 記

- |       |                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①実施時間 | 毎週2コマ（原則水曜日1・2時間目、最終2月5日までを予定）                                                                                                                                                                                                               |
| ②実施学年 | 5年生と2年生。来年度高学年、低学年の核となるため、この2学年でプレ実施をしまして、4月からの全学年実施を占っていこうと考えております。                                                                                                                                                                         |
| ③配慮事項 | 授業では主に総合、特活の時間を使い、国語や算数など従来の教科の学習時間の妨げにならないようにいたします。またもちろんであります、子どもの活動には教員が見守ることを原則とし、安心安全な活動に全力を注ぎます。                                                                                                                                       |
| ④学習内容 | 1) スポーツ系、ものづくり系、ICT系、生き物系、アート系など数グループをつくる予定にしています。<br>2) グループごとに「企画書」を作成し、みんぐるの学習目的①世のため、ひとのためとなるような活動、②夢に近づくために、個性をみがいて新しいものをつくりだす③異学年が楽しく交流する ように活動します。<br>また子ども自らが学習の計画を立てる力も育んでまいります。<br>3) 発表会、展示会などの最終ゴールにつきましても、子ども自らが企画立案するようにいたします。 |
| ⑤おねがい | 色紙、画用紙、楽器、パソコンなど学校にある備品などはみんぐる学習活動でも使っていきますが、学校にないものを使用する場合には、ご家庭にあるもので構いませんので、ご準備くださいますようよろしくお願いいたします。<br>（ご準備いただくものは、別途お知らせいたします）                                                                                                          |